



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	106,645	7.6	15,629	3.0	16,719	0.0	10,201	1.4
27年3月期第3四半期	99,149	0.3	15,173	△3.3	16,713	△3.0	10,060	1.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 8,569百万円 (△16.7%) 27年3月期第3四半期 10,294百万円 (18.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	176.62	176.56
27年3月期第3四半期	173.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	177,995	111,163	61.7
27年3月期	180,312	110,264	60.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 109,862百万円 27年3月期 109,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
28年3月期	—	54.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	54.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,500	7.1	20,700	8.7	22,500	6.7	13,300	△2.6	230.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 5「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	57,634,200株	27年3月期	58,025,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	3,030株	27年3月期	2,879株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	57,761,082株	27年3月期3Q	58,069,872株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(2) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日、以下「当第3四半期」という)におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな回復基調を続けているものの、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化に加え、原油価格の大幅下落などの海外要因から、景気の下振れが懸念されるなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場は依然として漸減傾向で推移するものの、カラオケボックス市場では、大手事業者の積極出店により緩やかながら増加傾向が継続しております。また、成長が期待されるエルダー市場の堅調な拡大もあり、市場全体のカラオケ稼働台数は僅かながら増加傾向で推移しております。

この様ななか、各事業におきましては諸施策を実施した結果、当第3四半期の業績は、売上高は106,645百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益は15,629百万円(同3.0%増)、経常利益は16,719百万円(前年同期比6百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,201百万円(同1.4%増)となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	99,149	106,645	7,495	7.6%
営業利益	15,173	15,629	455	3.0%
経常利益	16,713	16,719	6	0.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,060	10,201	140	1.4%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、4年半ぶりとなるフラッグシップ新商品「LIVE DAM STADIUM」を昨年4月に発売しました。スタジアムライブの圧倒的な臨場感を再現する「ライブサウンド」機能と、業界初の「デュアルモニター」搭載によって進化した「音」と「映像」は市場からの高評価をもって迎えられ、好調な受注により市場投入は順調に推移いたしました。

また、当期は安定的な収益基盤の強化を目指し、機器賃貸の出荷比重を高めることに注力いたしました。成長分野として注力しているエルダー市場についても、稼働台数が堅調に増加し、DAM稼働台数の増加に寄与いたしました。

以上の結果、新商品の発売による販売が好調に推移したことに加え、機器賃貸収入および情報提供料収入が着実に増加し、売上高は前年同期比8.3%増加となりました。利益面におきましては、機器賃貸の先行コストが増加したものの、営業利益は前年同期比5.1%の増加となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	47,959	51,958	3,998	8.3%
営業利益	10,541	11,077	536	5.1%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におけるカラオケルームにおきましては、昨年4月に近畿・中部地域等でチェーン展開する店舗の事業買収に加え、積極的な新規出店に注力いたしました。また、店舗の差別化施策として、ルーム内の音響や映像の強化を図るとともに、一次会需要を取り込むためのパーティーコースの充実やレストランルームの増設に努めました。飲食店舗におきましては、顧客満足度の向上を図るため、提供するサービスの向上を目指し、エリア別に教育店舗を設置するなど、従業員教育の強化に努めました。

以上の結果、売上高は最大の商戦期である12月が好調に推移するとともに、前期に出店した店舗と買収した新店の売上寄与もあり、前年同期比8.5%増加となりましたが、営業利益は新規出店等による先行コストの増加と、入替え導入を推進した新商品「LIVE DAM STADIUM」及びのれんの償却負担増の影響もあり、前年同期比0.2%の減少となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	39,690	43,070	3,379	8.5%
営業利益	5,767	5,757	△10	△0.2%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、「水森かおり」や紅白初出場を果たした「三山ひろし」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」や「筋肉少女帯」などの作品が貢献いたしました。音楽配信がやや改善の兆しが見えたものの、音楽CD離れの風潮が加速するなど、事業環境は依然厳しい状況で推移しています。

以上の結果、売上高は前年同期比2.5%減少し、これに伴い営業利益は前年同期比62.5%の減少となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	6,560	6,398	△162	△2.5%
営業利益	49	18	△31	△62.5%

(その他)

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジオ光」とコンシューマー向けストリーミングカラオケサービスの拡販に努めるほか、不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は不動産賃貸収入等の増加により前年同期比5.7%増加し、営業利益はコスト低減効果などにより前年同期比24.5%の増加となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,938	5,218	280	5.7%
営業利益	909	1,132	222	24.5%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,317百万円減少し、177,995百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、その他に含まれる前払費用が1,177百万円増加し、現金及び預金が7,867百万円及び受取手形及び売掛金が527百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、カラオケルーム及び飲食店舗設備が2,502百万円、カラオケ貸貸機器が2,282百万円、土地が1,176百万円及びのれんが756百万円それぞれ増加し、投資有価証券が2,519百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,216百万円減少し、66,831百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では支払手形及び買掛金が839百万円及び短期借入金が489百万円それぞれ増加し、未払法人税等が3,262百万円及びその他に含まれる未払金が1,717百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、その他に含まれる長期未払金が801百万円及び長期借入金317百万円それぞれ増加し、役員退職慰労引当金が1,191百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ899百万円増加し、111,163百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加10,201百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少6,013百万円、自己株式の取得による減少1,700百万円及びその他有価証券評価差額金の減少1,688百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月11日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準等第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（2）追加情報

（役員退職慰労引当金）

当社は、平成27年5月18日開催の取締役会において役員退職慰労金制度を廃止することを決議するとともに、平成27年6月19日開催の定時株主総会において、本総会終了後に在任する役員については、これまでの在任期間に応じた退職慰労金を各役員の退任時に支給することが承認可決されました。

これにより、当社の役員退職慰労引当金801百万円を全額取り崩し、固定負債のその他に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,747	51,879
受取手形及び売掛金	7,016	6,489
たな卸資産	6,933	6,564
その他	6,363	7,678
貸倒引当金	△139	△136
流動資産合計	79,920	72,475
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	9,262	11,545
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	17,236	19,738
土地	26,339	27,516
その他（純額）	5,554	5,912
有形固定資産合計	58,393	64,712
無形固定資産		
のれん	1,235	1,992
その他	6,350	5,809
無形固定資産合計	7,585	7,801
投資その他の資産		
投資有価証券	13,263	10,743
敷金及び保証金	14,392	14,424
その他	6,844	7,922
貸倒引当金	△87	△84
投資その他の資産合計	34,413	33,006
固定資産合計	100,392	105,520
資産合計	180,312	177,995

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,723	5,563
短期借入金	3,949	4,439
未払法人税等	5,007	1,745
賞与引当金	1,063	1,029
その他	12,702	11,055
流動負債合計	27,446	23,833
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	23,161	23,479
役員退職慰労引当金	2,426	1,235
退職給付に係る負債	4,780	5,142
その他	2,233	3,140
固定負債合計	42,602	42,998
負債合計	70,048	66,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,001	4,001
利益剰余金	93,439	95,931
自己株式	△8	△13
株主資本合計	109,782	112,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	△1,370
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	210	154
退職給付に係る調整累計額	△528	△458
その他の包括利益累計額合計	△733	△2,408
新株予約権	-	54
非支配株主持分	1,215	1,246
純資産合計	110,264	111,163
負債純資産合計	180,312	177,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	99,149	106,645
売上原価	58,723	65,151
売上総利益	40,425	41,493
販売費及び一般管理費	25,252	25,864
営業利益	15,173	15,629
営業外収益		
受取利息	767	595
その他	1,100	1,033
営業外収益合計	1,868	1,629
営業外費用		
支払利息	225	255
その他	103	283
営業外費用合計	329	539
経常利益	16,713	16,719
特別利益		
固定資産売却益	14	22
投資有価証券売却益	173	-
特別利益合計	187	22
特別損失		
固定資産処分損	234	192
減損損失	0	248
特別損失合計	234	441
税金等調整前四半期純利益	16,666	16,300
法人税、住民税及び事業税	6,583	6,041
法人税等調整額	△19	14
法人税等合計	6,564	6,056
四半期純利益	10,101	10,244
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,060	10,201

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	10,101	10,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△1,688
為替換算調整勘定	124	△55
退職給付に係る調整額	74	69
その他の包括利益合計	192	△1,674
四半期包括利益	10,294	8,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,252	8,526
非支配株主に係る四半期包括利益	41	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	47,959	39,690	6,560	94,211	4,938	99,149	—	99,149
セグメント利益 (営業利益)	10,541	5,767	49	16,358	909	17,268	△2,095	15,173

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,095百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	51,958	43,070	6,398	101,426	5,218	106,645	—	106,645
セグメント利益 (営業利益)	11,077	5,757	18	16,853	1,132	17,985	△2,356	15,629

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,356百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。